

公表

事業所における自己評価結果

| 事業所名 | | 公表日 | | | |
|----------------|---|-------------|-----|--|--|
| KID ACADEMY尼崎校 | | 2026年 2月 9日 | | | |
| | チェック項目 | はい | いいえ | 工夫している点 | 課題や改善すべき点 |
| 環境・体制整備 | 1 利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。 | 6 | 1 | ・新環境が始まり、モンテッソーリ、支援、フリースペースの3つに区切っているため1つ1つのスペースは狭くなったが、やりくりして有効に活用できるように指導員1人1人考えながら工夫して使用している。 | ・朝礼時に、本日の支援内容について指導員同士で話し合いスペースを工夫しながら支援に努めております。 |
| | 2 利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。 | 2 | 5 | ・現在の体制の中で、職員同士が連携しながら、できる限り質の高い支援を心がけています。今後、職員体制がさらに充実することで、より一層余裕をもって、きめ細やかな支援を提供できると考えています。 | ・お子様1人1人の発達に合わせた対応ができるように、スタッフの個々のスキルアップを行ってまいります。 |
| | 3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。 | 6 | 1 | ・子どもの目線に合ったものになっている。 ・フローリングが新しくなり、板のささくれで、ケガをする心配はなくなったが、滑りやすくなったので、転倒の可能性も考えられるのでより注意していきたい。 ・玄関前に手すりはないが階段がある。(スロープはない) | ・職員同士で情報共有をしながら、整理整頓に努めてまいります。 ・玄関前の階段を上るのが困難な方がいらっしゃる場合は、面談をビデオ通話を活用してまいります。 |
| | 4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。 | 6 | 1 | ・掃除など行き届いている。 ・感染症対策も行うとともに、子どもたちの様子にも気を付けながら、過ごしやすい環境を整えている。 | ・サーキットトレーニングや就学準備のカリキュラムでは、教具の配置を動かして工夫し活動に合わせた環境を作ってまいります。 |
| | 5 必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。 | 3 | 4 | ・個別の部屋はないが、机などで仕切るなど工夫をして、スペースを確保できるようにしている。 ・必要があれば、事務スペースを使用している。 ・切り替えがうまくいかない利用者に対して、周りから少し離れた場所から見守ることはしている。 | |
| 業務改善 | 6 業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。 | 7 | 0 | ・事業所会議を毎月行っている。 ・朝礼や終礼などを活用して振り返り改善点や好事例を話し合い、業務日報に記載し周知をはかっている。 | |
| | 7 保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。 | 7 | 0 | ・毎年行い、振り返りの会議を実施し、改善に向けて取り組んでいる。 ・今日のお子様の様子をお伝えし、日頃の様子も聞きながら保護者の方が今困っていることや、できるようになったことなどを聞き取る。そこからさらに細かい支援に繋げていけるように、他のスタッフにも伝え共有している。 | |
| | 8 職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。 | 7 | 0 | ・1on1や、事業所会議で聞き取り、改善が必要な点は改善に向けて努力している。 ・毎月校内でのミーティングの時間を取り、校での支援中での課題をあげ、改善するための策を話し合い、決まったことをスタッフ同士で共有し実行している。 | |
| | 9 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。 | 6 | 1 | ・今は行われていない | ・現在は、実施をしていますが今後は必要に応じて検討をしていきます。 |
| | 10 職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内で研修を開催する機会が確保されているか。 | 7 | 0 | ・毎月の研修にできるだけ参加し、当日参加できない職員はアーカイブを視聴している。 ・月一回のカリキュラム研修の他、子ども達のために、お互いのカリキュラム内容にも関心を持ち切磋琢磨しながら支援の向上に努めている。 | |
| | 11 適切に支援プログラムが作成、公表されているか。 | 7 | 0 | ・計画的に実施している。 ・個別や2・1・3人以上の小集団など、そのお子さまの状況に合わせたカリキュラムを行なっている。保護者の方には毎回HUGにて公開している。 | |
| | 12 個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。 | 7 | 0 | ・できるだけたくさんの職員にアセスメントに参加してもらい、個別支援計画も公表して確認している。 ・支援計画の見直しの際には、スタッフでアセスメントを行い、今何ができているのか、できていないのかを再度確認して、今後の支援に繋げている。 | |
| | 13 児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。 | 7 | 0 | ・個別支援計画の原案を話し合い、本案に活かしている。 ・アセスメントやモニタリングを行った際に、当日参加できなかったスタッフにも、話し合った内容を後日確認してもらい共通理解を行なって日々支援に入っている。 | |
| | 14 児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。 | 7 | 0 | ・日々の支援について話し合いを行っている。 ・カリキュラムを考える際には支援計画や専門計画を見直し、それに沿った内容で支援を行なっている。 | |
| | 15 こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。 | 7 | 0 | ・毎日の日報などで、確認している。 ・日々変化があるので、スタッフは小さい変化にも気がつくように、アンテナを張り観察している。 | |

| | | | | | | |
|--------------|----|--|---|---|---|---|
| 適切な支援の提供 | 16 | 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のわらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。 | 7 | 0 | ・家族・本人支援だけではなく、小学校への移行支援や地域支援や連携などさまざまな支援の形を取り入れて行っている。 | |
| | 17 | 活動プログラムの立案をチームで行っているか。 | 7 | 0 | ・朝礼等で話し合っている。 ・集団カリキュラムの際は、毎日スタッフ同士で話し合い内容を周知し支援を行っている。 | |
| | 18 | 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。 | 7 | 0 | ・アイデアを出し合い、偏らないようにしている。 ・毎回同じ内容にならないように気をつけながら支援を行なっている。 | |
| | 19 | こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。 | 7 | 0 | ・保護者の要望や子どもの状況を加味して、支援している。 ・個別・集団両方ともとのメリットを最大限に活かしながら、カリキュラムに取り組んでいる。 | |
| | 20 | 支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。 | 7 | 0 | ・毎日朝礼を行い、本日のお子様の担当者を決めて支援までの間にカリキュラムの内容を決める。その時にスタッフ同士で支援する場所や内容を伝え共有している。 | |
| | 21 | 支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点を共有しているか。 | 7 | 0 | ・終礼を行い、確認している。欠席の職員は業務日報を確認している。 ・毎回終礼を行いその日のお子様の様子で気になる点を伝える。本日欠席の先生達には、日報で伝え、情報の共有を行なっている。 | |
| | 22 | 日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。 | 7 | 0 | ・必ず提供記録を行っている。 ・日々、支援の内容をHUGIに入力している。 ・毎回支援内容をHUGIに記載し、本日欠席だった方にも電話で支援を行なっている。 | |
| | 23 | 定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。 | 7 | 0 | ・半年ずつ行っている ・モニタリングはなるべく多くのスタッフで行い、支援計画の内容の達成できているのか、どうして達成できなかったかを話し合っている。 | |
| 関係機関や保護者との連携 | 24 | 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。 | 7 | 0 | ・子どもの支援に直接関わっている人たちが参画している。 | |
| | 25 | 地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。 | 7 | 0 | ・必要に応じて、園訪問を行い、関係機関と情報共有をしている。 ・地域支援・地域連携を行い地域で子ども達を支えることができるようにしている。 | |
| | 26 | 併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚園)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。 | 7 | 0 | ・保護者のご希望に沿って行っている ・お子様に合わせた支援を行い、園の様子を先生から聞いたり、見学に行ったりしながらお互いで情報共有を行なっている。 | |
| | 27 | 就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。 | 2 | 5 | ・保護者のご希望により行う ・保護者の方の意向を最優先に行い、お子様の様子を鑑みながら相談のり移行支援を行なっている。 | ・保護者の希望により、スタッフで今の様子を話し合い「サポートブック」を作成させていただいております。 |
| | 28 | (28～30は、センターのみ回答) 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。 | | | | |
| | 29 | 質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。 | | | | |
| | 30 | (自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。 | | | | |
| | 31 | (31は、事業所のみ回答) 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパバイズや助言等を受ける機会を設けているか。 | 2 | 3 | ・今までそういう機会に出会っていないが、今後必要な場合は、センターからの助言を受けようと思っている。 | |
| | 32 | 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。 | 2 | 5 | ・適宜、園訪問を行なっている。 | ・地域で活動する場や園との直接交流することは今のところないが、機会があれば活動してみたいと考えております。 |
| | 33 | 日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達状況や課題について共通理解を持っているか。 | 7 | 0 | ・保護者にお伝えしている。 ・お帰りの時には、気になったことやできたことを話し、保護者の方と共通理解するタイミングを増やしている。 | |
| | 34 | 家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。 | 5 | 2 | ・保護者茶話会を開催した。 ・現在、内部にペアレント・トレーニングの研修はないが、外部で参加できる機会があれば参加していきたいと思う。 | |
| | 35 | 運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。 | 7 | 0 | ・契約時に説明している。 ・最初の入会時に説明を行なっている。質問がある場合はその都度話を聞き回答している。 | |
| | 36 | 児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。 | 7 | 0 | ・面談で聞いている。 ・面談時やその前にアンケートを取り、子どもや家族の意向を確認して組み込んでいる。 | |

| | | | | | | |
|----------|----|--|---|---|--|--|
| 保護者への説明等 | 37 | 「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。 | 7 | 0 | ・一つ一つ丁寧に説明し、納得してから捺印を押してもらっている。 | |
| | 38 | 定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。 | 7 | 0 | ・半年に一回は面談を行っている。 ・更新時期に限らず、保護者の方の悩み事を感じ取ったら、随時面談を行い相談になり助言し支援を行なっている。 | |
| | 39 | 父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。 | 7 | 0 | ・保護者の茶話会を開催している。兄弟は行っていない。 ・年に数回、「茶話会」を企画、実施している。 ・茶話会を年に数回開催し、保護者同士の交流の場を作っている。 | |
| | 40 | こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。 | 7 | 0 | ・必ず職員で周知している。 ・いつでも相談にのる旨を伝え、適切な話し合いができるよう迅速に対応する。 | |
| | 41 | 定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。 | 7 | 0 | ・マンスリーを配布している。 ・毎月マンスリー(園・保護者)を発行し、会社として伝えたいことをお伝えしている。 | |
| | 42 | 個人情報の取扱いに十分留意しているか。 | 7 | 0 | ・鍵付きの書庫に保管している。 | |
| | 43 | 障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。 | 7 | 0 | | |
| 非常時等の対応 | 44 | 事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。 | 1 | 6 | ・今は行っていないので必要に応じて検討したい。 | ・今後、機会を設けることを考慮させていただきたいと思います。 |
| | 45 | 事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。 | 7 | 0 | ・定期的に行っている。 ・スタッフがすぐ確認できる場所に設置し、定期的にさまざまな状況で設定した訓練を行なっている。 | |
| | 46 | 業務継続計画(BCP)を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。 | 7 | 0 | ・内部でBCP研修や災害が起こった時の訓練も行なっている。 | |
| | 47 | 事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。 | 7 | 0 | ・契約時に確認している。 ・入会時に、既往症がある場合、書面にも記載してもらっている。 | ・今後はお子様の状況が変わった場合にも、把握をしていけるように徹底させていただきたいと思います。 |
| | 48 | 食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。 | 5 | 2 | ・今は特に指示書はないが、アレルギーは把握している。 ・食事の提案はないため、医師の指導者は受け取っていない。 | |
| | 49 | 安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。 | 7 | 0 | ・毎月行っている。 ・毎月校内の安全確認を行い、年に何度か訓練をして安全管理を行なっている。 | |
| | 50 | こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。 | 7 | 0 | ・子ども達の安全を第一に考え計画を立て、保護者の方に周知している。 | |
| | 51 | ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。 | 7 | 0 | ・振り返りの会議を行い、改善点を共有している。 ・今後事故につながる可能性があるので、スタッフ間で共有し再発防止に努めている。 | |
| | 52 | 虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。 | 7 | 0 | ・虐待・身体拘束研修や訓練・委員会を受けて、いざという時にすぐ対応できるようにしている。 | |
| | 53 | どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。 | 7 | 0 | ・保護者の方にも「状況によって」行なう場合があることを契約時にお伝えし、計画書に記載している。 | |